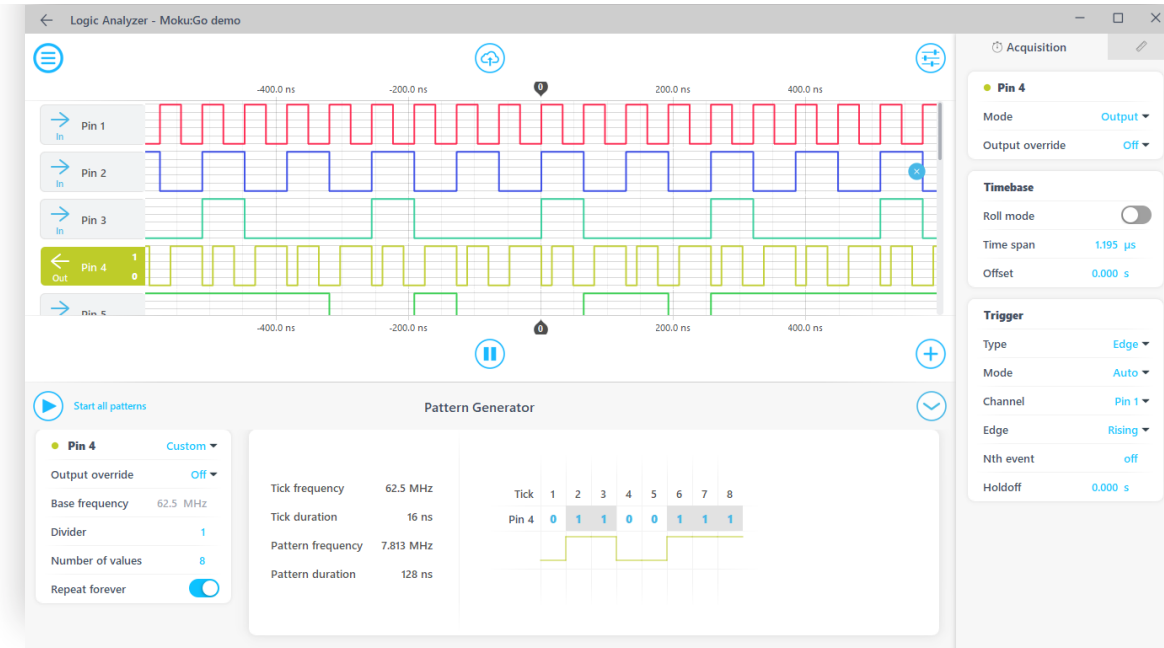




Moku:Goのロジックアナライザ/パターンジェネレータは、最大125MSa/sのサンプリングレートで16の双方向デジタルI/Oを備えています。3.3Vロジックレベル（5V耐圧）、8M×16入力のメモリ容量をサポートしています。測定値はインターフェースを介して容易に取得可能。また、データやスクリーンショットをキャプチャしてコンピュータにアップロードすることも可能です。Moku:Goは、アナログ入出力や直感的なグラフィカル・ユーザー・インターフェースと組み合わせることで、研究室のカリキュラムにおける実験や卒業研究等のプロジェクトに最適なソリューションとなります。



DIO ポート
16

サンプリングレート
125 MSa/s

最大クロック
62.5 MHz

対応ロジックレベル
3.3 V, 5 V 耐圧

入力メモリ容量
8M × 16

対応関数
AND, OR, XOR, etc

特徴

- 最大125MSa/sのサンプリングレートを持つ16チャンネルの双方向デジタルI/O
- 3.3Vのロジックレベルをサポート、5Vの入力耐電圧を保持。
- 入力メモリは8M×16ポイント、出力メモリは1024×16ポイントの超大容量を実現（131k×16も2021年末に発売予定）
- パワフルで直感的なグラフィカル・ユーザー・インターフェースで、PythonとMATLABのAPIをサポートしています。

仕様

- I/Oポート数: 16 ch（双方向）
- 入力メモリ容量: 8M × 16
- 出力メモリ容量: 1024 × 16
- 入力
 - ロジックレベル: 3.3 V, 5 V tolerant
 - インピーダンス: >10 MΩ, <4 pF
 - 最大サンプリングレート125 MSa/s
 - 最大クロック周波数: 62.5 MHz
- 出力
 - ロジックレベル: 3.3 V
 - インピーダンス: 400 Ω, <4 pF
 - 最大サンプリングレート125 MSa/s
 - 最大クロック周波数: 62.5 MHz
- 対応関数: AND, OR, XOR, NAND, NOR, XNOR

アプリケーション

- 信号シミュレーション
- デジタル回路設計
- デジタル通信診断
- クロックソース